◎出題意図について：

出題した文章における著者の論旨を的確に理解するとともに、その要点を適切に文章化し、著者の「人間にしかできないこと」をめぐる議論に対して、自身の考えを説得的に論述する力を問う。

◎解答について：

出題した文章では、技術の進歩により人間の技能が機械に勝る領域は小さくなってきたなかで、熟達こそが「人間にしかできないこと」を理解する鍵になること、人間と機械の最大の違いは、身体を通じて外界と内部を知覚する「主観的体験」の有無であることが述べられている。

小論文の論述であるため、解答には多様なかたちがあり得ることを前提とする。そのうえで、採点においては、次の諸点を基準とする。

1. 著者が、熟達を「人間にしかできないこと」として論じる趣旨を、出題した文章から的確に読み取り、簡潔にまとめていること。
2. 著者の「人間にしかできないこと」をめぐる議論に対し解答者が自らの考えを述べるうえで、人間と機械との対比や「主観的体験」という特徴について、批判的あるいは多角的に捉えられていること。
3. 「人間にしかできないこと」をめぐる、出題した文章においては、著者が論じていないと考えられる観点についての論述が加えられても良い。
4. 以上の諸点に関わって、論旨と筋道立てが明瞭で論理的に考えを記述していること、「人間にしかできないこと」について鋭く洞察されていること、独自性のある議論が展開されていること、限られた文字数のもと読み手に伝わる文章でわかりやすく表現されていること。